平成 24 年度　美術Ⅰ　シラバス

沖縄県立与勝高等学校

教科	科目	履修学年	単位数	教科書	担当者
芸術	美術Ⅰ	１年（選択）	２	日本文教出版「高校美術１」	金　城　理　恵

目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

【表現】

（１）絵画・彫刻

ア　感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。

イ　表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練ること。

ウ　意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。

エ　表現方法を工夫し、主題を追求して表現すること。

（２）デザイン

ア　目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成すること。

イ　表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練ること。

ウ　意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。

エ　表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現すること。

（３）映像メディア表現

ア　感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。

イ　色光、視点、動きなどの映像表現の視覚的要素を工夫して表現の構想を練ること。

ウ　意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かすこと。

エ　表現方法や編集を工夫して表現すること。

【鑑賞】

ア　美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深める。

イ　映像メディア表現の特質や表現の効果などを感じ取り、理解すること。

ウ　自然と美術とのかかわり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、理解を深めること。

エ　日本の美術の歴史や表現の特質、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めること。

評価方法

１　観点別評価に応じた実技課題（作品制作）・・・約７０％

２　定期考査・・・・・・・・・・・・・・・・・・約３０％

３　学習態度等

評価の観点

関心・意欲・態度	美術を愛好し、表現の主題や形式などに幅広く関心をもち、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。
発想や構想の能力	感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的表現を工夫する。
創造的な表現の技能	創造的な表現をするために材料・用具を生かして表現する技能を身に付けている。
鑑賞の能力	作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然と美術との関連、日本の美術の歴史などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。

学　　習　　活　　動			
学期	単元名	配当時間	学　習　目　標
一学期	１ オリエンテーション 自己紹介（取扱説明書）	２	□学習のねらいと年間計画を学ぶ ・自己の取り扱い説明書を作成し、自己紹介をする
	２　いろいろな視点で ～モダンテクニック～	６	□モダンテクニックの面白さを味わう □材料や用具の使い方を習得し、モダンテクニックの技法を学ぶ ・バチック・フロッタージュ・デカルコマニー・マーブリング・スパッタリン・ドリッピング・吹き流し
	４　レタリング	４	□レタリングの基礎知識・技能を学ぶ ・漢字、かな、英字などの基本書体とその要素 ・字配り、字形、スペーシングの学習
	５　ポスター	８	□伝えたいことや主張したい内容の表し方を工夫して、効果的に伝えるための材料や用具、形、色などを考え、ポスターで表現する ・色彩の基礎を学ぶ・アクリル絵の具の性質と使用方法を学ぶ・色の三属性の学習・色の対比の学習・レイアウトの工夫と効果についての感性を磨く
	不思議な世界を描こう	８	□図法や錯視の原理を理解し、その効果を生かした不思議な世界を表現する ・視覚の性質を応用した不思議な見え方に関心を持つ ・基本的な原理と構造を基に想像力を働かせ、イメージを発想し、構想する
二学期	６　うちわづくり	１０	□うちわを手に取ったときに心が豊かになるような、魅力的なデザインになるようにする ・身の回りのデザインされたものに関心を持ち、多様な表現につなげるようにする ・自分のうちわや、友達のうちわを交換し互いに鑑賞し合う
	７　人物クロッキー	４	□クロッキーについて学ぶ ・人物の動き、造形的要素、雰囲気などを感じ取り、クロッキーする
	８　頭像	１２	□塑像の基本的知識、技能を学ぶ ・塊や動き、量感などを意識して、制作する ・全体を意識しながら細部に入る
三学期	９　フェナキストスコープ	１２	□動画・静止画の持つ意味・機能などを理解する □創造的・独創的に発想する能力をつける
	１０　まとめ	４	□1 年間の振り返り ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや違いについて話し合い、発表する
	計	７０	